



志木四小だより

平成 30 年度 3 月号 キーワード

「信頼と絆」と「元気な子どもと元気な学校」

地域とともに輝くひとみ・笑顔あふれる志木四小



繋げていくということ・・・

校長 原 万里子

寒暖の差が激しかった 2 月が過ぎ、余寒はあるものの、温かな日差しに活力を感じる 3 月となりました。年度の最終月を迎えた現在、子供たちの「学年らしく」なった様子に 1 年間の成長を嘸みしめ嬉しく思っています。

校内を回っていると、次年度に備えて様々な活動に取り組んだり、1 年間のまとめとしての『学習発表会』の練習がされたりと着々と「学年のゴールに向けて」と「次の学年にバトンを渡す」準備が整ってきていると感じます。

この成長を支えてくださったのも、保護者や地域の皆様の温かな見守りとご支援、ご協力のお蔭と心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

来月 62 名が進学し 336 名が進級します。これからも互いに学び合い切磋琢磨してきた仲間を大切に、自分の可能性に自信をもって、一歩一歩、前へ前と進んで行くことを願っています。

志木市立志木第四小学校

志木市館 1-4-1

TEL 048(474)7911

「信頼と絆」と「元気な子どもと元気な学校」

「ゆずり葉」

河合 酔茗

子供たちよ。

これはゆずり葉の木です。

このゆずり葉は

新しい葉が出来ると

入り代わってふるい葉が落ちてしまうのです。

こんなに厚い葉

こんなに大きい葉でも

新しい葉が出来ると無造作に落ちる

新しい葉にいのちをゆずって――。

子供たちよ。

お前たちは何をほしがらないでも

すべてのものがお前たちにゆずられるのです。

太陽のめぐるかぎり

ゆずられるものは絶えません。

かがやける大都会も

そっくりお前たちがゆずり受けるのです。

読みきれないほどの書物も

みんなお前たちの手に受け取るのです。

幸福なる子供たちよ

お前たちの手はまだ小さいけれど――。

世のお父さん、お母さんたちは

何一つ持ってゆかない。

みんなお前たちにゆずってゆくために

いのちあるもの、よいもの、美しいものを、

一生懸命に造っています。

今、お前たちは気が付かないけれど

ひとりでにいのちは延びる。

鳥のようにうたい、花のように笑っている間に

気が付いてきます。

そしたら子供たちよ。

もう一度ゆずり葉の木の下に立って

ゆずり葉を見る時が来るでしょう。